

基準への達成めざす

2017 春季生活闘争方針決まる

30歳24万円など各年齢の「JAM一人前ミニマム基準」への到達など賃金絶対額重視の要求を行う2017春季生活闘争方針などを決めたJAM第30回中央委員会が2017年1月20日、東京の連合会館で開かれた。



＜2017春闘の重要性を訴える宮本会長＞

冒頭のあいさつに立った宮本JAM会長は、「JAMの春季生活闘争の基本は企業規模や性別・雇用形態などに関係なく、全ての労働者の賃金水準を、労働の対価にふさわしい社会水準に到達させる取り組み」と強調。「社会的な賃金水準に比べて、不合理な賃金格差が生じていたり、個々の賃金水準が社会的に低すぎるのであれば、産業別労働組合の責任において、その是正に全力を傾注しなければならない」とJAMの2017春闘方針の主旨を強調した。

1号議案のJAM2017年春闘生活闘争方針は12月の大綱を受けて各地方JAMで論議が重ねられて、原案通り満場一致で決定された。具体的な要求内容としては個別賃金要求を前面に押し出し、個別賃金絶対額水準を重視し、根元からの賃金を要求する。過去には賃上げ額または率を強調していたが、中小労組が多いJAMでは絶対的な賃金が低く、賃上げ幅だけでは月例賃金全体がみえなくなっている現状がある。そこで、本来獲得すべき賃金額を掲げて、春闘を取り組むこととし

た。

このほかこの中央委員会では、2号議案2016年JAM政策実現活動の総括に関する件など5本の議案と、JAMのあるべき姿を提起する「JAM運動共創イニシアティブ」、男女間賃金格差について10年の経年変化の検証と単組のヒアリング調査をもとに、依然として存在する男女間賃金格差解消へ向け課題提する「男女間賃金問題検討委員会報告」の2本の特別報告なども議論・報告され、それぞれ決定・確認された。



＜満場一致で春闘方針を承認＞

3年後は必ず戦う

JAM2016年政策実現活動を総括

政策実現活動として取り組んだ参議院選比例区の「藤川選挙」について、2016年8月の定期大会で中間まとめを行い、この中央委員会で総括した。

菊地政策政治委員長が単組・組合員の調査とヒアリングの分析に基づいた総括案を提案。これに対して4人の中央委員から「組合員が自分のこととして受け止めやすい政策立案」「他団体との連携」「早期に候補者選出」などの意見が出され、執行部から、3年後は必ず戦うとの答弁がされた。